

会 議 概 要

会 議 名	令和7年度第2回平塚市博物館協議会		
開催日時	令和7年11月13日（木） 14時～15時30分		
会 場	平塚市博物館科学教室		
出 席 者	委員6人（小倉会長、藤吉副会長、金子委員、広谷委員、山田委員、大田委員） 事務局6人（社会教育部長、博物館長、学芸担当長、管理担当長、学芸担当主査、 管理担当主管）		
議 題	1 報告事項について 2 その他		
公開・非公開	公開	傍 聴 者	なし
<p>【審議等概要】</p> <p>1 報告事項について</p> <p>（1）令和7年度夏期特別展について、次のような意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入館者数は受付が目視でカウントしているが、大人と子どもの微妙な年齢は区別できるのか。また、居住地等より詳細にカウントしている館もある。居住地の地図にシールを貼付するなどの方法を活用してみるとよい。 実物展示が良く、関連事業も人気だったが専門性が高く難しいと感じたようで、展示室からの退室が早い来館者も見受けられた。学生自らが説明する生解説は、来館者も満足度が上がったようだ。 一概には言えないが、アンケート結果は展示のメインターゲットではない層からの評価をどう捉えるかを整理する必要がある、必ずしも満遍なく高い評価を求める必要はないかもしれない。 小学校教育に携わる者として、アンケートの感想を読んで嬉しかった。今は難しくてよくわからないが、長い目で見た時に成長を促し、興味を持つきっかけになったと思う。ロケット工学は子どもには身近でないが、今回の展示でやってみたいと思う子が出たら凄い。 今回の展示は公の施設で大学のサークル活動が紹介され、携わっている学生には大きなチャンスだったと思う。若い世代が未来へ向かう展示内容で、博物館の新しい取組と言える。 <p>（2）令和7年度博物館活動状況について、次のような意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ワーキンググループ活動」の活動回数だが、展示解説ボランティアの会については定例会の回数が活動回数になっている。開館日は毎日活動しているので、開館日数と活動回数は同数になる。活動グループ名には「展示解説ボランティアの会定例会」と記載いただく方が正確だ。 7、8月の来館者数が伸びているが、酷暑の影響で館がクーリングシェルターになっていると思う。 夏の時期は室内でできる活動に切り替える等、酷暑への対応が求められる。 <p>（3）情報発信（ホームページ・YouTube・SNS）について、次のような意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2022年に博物館法が改正され、デジタルアーカイブ化が努力義務になっている。YouTubeやツイッターの再生回数ではなく、資料をデータベース化し公開する等の広い意味でのデジタル化を進め、公開できる体制を整えていくことが館としては重要だと思う。そんな観点から広く情報発信を捉えてほしい。 館の資料データベース公開は時間も金額もかかり簡単ではないと思うが、例えば品切れになった図録をPDF化し、ホームページにアップするだけでも利用者は有益と思う。 <p>2 その他</p> <p>（1）事務連絡等として、次の意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1階寄贈品コーナーで開催している「野尻抱影 星の文人の軌跡」のサテライト展示を2階情報コーナーでも行っている。案内が1階寄贈品コーナー入口の展示パネルにあるが、十分に伝わっておらず2階まで足を運ぶ人が少ないので、もう少しわかりやすくした方がよい。 <p>次回、第3回は3月24日（火）14時から開催予定。</p>			
問合せ先 （事務局）	平塚市教育委員会 社会教育部 博物館 管理担当 電話番号 0463-33-5111（代）		